

医療従事者における針刺し・粘膜曝露後の心理状況と今後の課題に関する研究

1. 研究の対象

2017年7月1日～2018年7月31日に針刺し・粘膜曝露を受けた医療従事者

2. 研究目的・方法

本研究は、当院において針刺し・粘膜曝露を受けた医療従事者の心理状況を把握し、心理的支援に資する目的で実施する。2017年7月1日～2018年7月31日において、針刺し・粘膜曝露を受けた医療従事者68名を対象に、受傷時と担当診療科受診後の心理状況について、半構造化インタビュー方式で行った逐語録をカテゴリー化し、カテゴリー別に百分率で割合を算出する。得た結果から、針刺し事故後の職員の心理状況を分析する。

3. 研究期間

倫理委員会承認日～6か月間

4. 研究に用いる試料・情報の種類

半構造化インタビュー方式で得た受傷時と担当診療科受診後の心理状況の逐語録

5. 研究成果の公表

研究成果の公表においては、第34回日本環境感染学会で発表し、事前にその内容等を実施責任者の承諾を得るものとする。公表に際しては、対象者のプライバシーが保護されるように配慮する。

6. 研究費

研究者は本研究に関係する企業等から個人的及び大学組織的な利益を得ておらず、開示すべき利益相反はない。データ管理における通信費、コピー代は医療安全管理部の予算を使用する。

7. 個人情報の保護と同意

取得した情報は、要配慮個人情報として取り扱う。原簿については、針刺し・粘膜曝露報告書と共に鍵のかかる保管庫（感染症対策室内）で厳重に保管する。分析したデータは個人名がわからない記号で管理し、記録媒体にはパスワードを設定する。したがって、第三者が本学の職員やデータベースへの不正アクセスを介さずに、直接個人を識別できる情報を閲覧することはできない。研究終了後は、研究終了報告書提出後、試料および臨床情報に関する手順書に伴い得た情報は廃棄する。

対象者が参加を拒否する場合には、研究実施者に申し出れば情報は使用しない。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

岩手県盛岡市内丸19-1 TEL 019-651-5111 内線 3811

岩手医科大学附属病院 医療安全管理部感染症対策室 及川みどり

研究責任者：岩手医科大学附属病院 医療安全管理部感染症対策室 櫻井 滋

-----以上